生きざま

の中

ŋ, ら生

<u>\*</u>

生

設立 平成24年 5月15日 開塾 平成24年 9月 8日 発行 令和 5年 5月13日 (120号)

第120号

[事務局] 〒567-0861 茨木市東奈良2-7-10 人間学塾・中之島 古田修平

つゆるものとなれて間は想いのな V

のです。

とするよう決めまし

で、学校時 **味覚の**写 の水道の水ばかり飲ん代は貧乏で弁当を持っ つて ()() まけ しな  $\mathcal{O}$ 

> です。
> いものを教えてくれたのは、私の故郷の自然いものを教えてくれたのは、私の故郷の自然の体験は味覚の世界を私に植え付けたのです。の体験は味覚の世界を私に植え付けたのです。かった。こうして身体が味を覚えました。こ のかも飢でし 柔らかくそしてまるでお菓子のようになの状態まで腹を空かせて食べた畑のナにしたとき、その美味しさは格別でしたとも関できずに、人の畑のトマトを捥 別でした。 ナス 甘

まうだろうが、私の哲学は無手勝 流の哲学な

■社訓「人間味」 た。周囲の人たち 1。言葉も通じない中でしたが、仕事会社に入ってすぐスイスへと行かさ 周囲の人たちには随分助けられました。そして何より私は友達を作るのがうまかっ叩し、掃除も床に這いつくばってやりまし はれ 生 ま

人も一人一人りよう。 お菓子の材料と司いて わが社の社訓です。お菓子の材料と司いて間。そこに「味」を加えて「人間味」これのことだと思います。和らげることのできのことだと思います。和らげることのでき 『味』これが ことのできる の作れる人 じく、 味

す。 なお おわ 、な仲人の役目であり、ように活かすことを、 ありた して とい 思く

っ 社は無くなってしまいます。 というです。改良とはその会社の「値打ンディングです。改良とはその会社の「値打だと赤字になるが、付加価値をつければブラルだと赤字になるが、付加価値をつければブラー・ るか、相性が合えば1+1=5を大きく超えり。るか、相性が合えば1+1=5を大きく超えり。 てゆく。 るか、相料 せたらどうな が

くでしょう。

。とが大切です。良いことに使えば大きくないです。またお金は使ってこそお金。活かすいかん」、これが私の哲学となり、経営理言われた言葉、「人に好かれる人にならん」この考え方もまた、十五の時に婆さんか は 営 が 理 念 と ん と り た ら ん と

中川

人とは間がつくれる人。

を考える。

贈答。贈ったことの思いやり。

# グループ討議

四月

## \*津曲孝 先 生 4月8日 (土)

Aグループ

・人に好かれる人になる。

経営は人を喜ばせることで繁盛する。

見えないところに誠を尽くす。

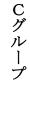
陰徳を積む

Bグループ

・行った先で喜ばれる人になる。 見えないところに誠を尽くす。

思いの強さで人生が動く。

第120号



人に好かれる。人を喜ばせる経営。

陰徳。見えないところに誠を尽くす。

改良。成功は永遠に続くから成功。

Dグループ (リモート)















## 寺田先生に導かれて 6 近藤宏枝

でした。 原則」「タイトルは朱印で判を捺しなさい」更初めや改行の時は一字落ちにすること。これが細い線もしくは変わり線にすること」「文章の り、そして言霊にも通ずる」ご指導は続きます。 だま通信」こだまとは、小玉であり、木霊であ 田先生が次の様にご提案下さいました。 りました。 たのは、もちろん寺田先生からお薦め頂いたか には「印刷のインクは黒ではなく明るい紺で。 ト」をどうするか③発行日、発行数(三〇~五 「タイトル」についてよく考える② 「上段も十九段にすること、 般的でなく費用が掛かり過ぎ、 )に抑える) 何度もこの色に関してはご提案下さいまし がハガキ通信「こだま通信」発行を決意し ?でなく費用が掛かり過ぎ、暫らくは黒色当時の印刷技術では青色のカラー印刷は 「タイトルは朱印で判を捺しなさい」 ①ハガキ通信を出すと決めたら、 一番大事な「タイトル」ですが、 まずはこの三つの教えから始ま 中央の線はもっと 「レイアウ まず 寺

第120号

が掛かりにくいのです。平をイメージさせ、更に視認性が高く目になり、ガキ」です。青色は、清潔感や安心感、 さてハガキの青色文字で思い浮かぶの は 負 担 公

り、 と思えるのです。こうして生まれた"こだま, 向いた「複写ハガキの実践」をご提唱下さったせん。今思えば「青色」に拘られたのは、私に !毎月一回月始め発行、三三○号を越えました。 、文字を青色に替えたのは言うまでもありま話は戻りますが、その後寺田先生のご指導通

# いよ本拠地

ため、 たが、 **引 フ / タ ー こ て 開催の 予定です。 さらに、 コロ改修工事が終了したことを受け、 大阪大学中之** ナ対策として、交流会・懇親会は控えてきまし ました。大阪大学中之島センターの ンションホールにて開催をしてきました。今般、 以来、大阪大学中之島センターで開 人間学塾・中之島 大阪市中央公会堂や大阪城ホールコンべた。大阪大学中之島センターの改修工事の 今後、復活させていきたいと思っていま 2012年に開 催をしてい

なお、 皆様、 乞うご期待 詳細は今後お知らせします。



「人は何こ、「人は何こ、」。ときより当塾に複数に渡り、「人は何こ、」。 心からの感謝を捧げるとともに謹ん活動され、多くの著書を遺されました。 冥福をお祈り申し上げます からの感謝を捧げるとともに謹ん 命をたまわった意味を求めて、 生 マ が で 15



### 追悼 神渡 良平先生

## 新規塾生感想

### 濱田 航

当たり前ではなく、 修養を励んで行きたいと思います。 教えを素直に受け止め、宇宙の法則に則り自 身を投じることが出来てることに感謝と先達 り、先日の津曲先生のご講話と大変贅沢な時間 ています。そして、池間先生のご講話から始ま 大阪等の関西圏に行くことは私の楽しみとなっ とでまた1ヶ月頑張ろうと思えていますので、 そういう思いがあるからこそ、月に一度の本塾 を過ごすことが出来ております。これは決して での学びによってエネルギーをチャージするこ 感化するとともに有難い環境だと実感してます。 ていましたが、塾生の方々の勉強熱心なお姿に 信三先生の「人生二度なし」を大切にしてます。 ることを掲げて入塾しました。学ぶ姿勢は、 たです。目標として、 入塾前も全てに感謝して生きていこうと思っ 人間学塾・中之島に参加して、 非常に恵まれている環境に 人として正しい行いをす 本当に良か  $\mathcal{O}$ 

うばかりです。
ない時に」であり、今の私に必要なことだと思す逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎまさに「人間は一生のうちに逢うべき人には必また、講師の方はじめ、皆さんとの出逢いはまた、講師の方はじめ、

ごすことができてます。
るのかや人となりが分かり、充実した時間を過さらに皆さんがどのようなことを意識されていることで、大阪等の美味しい料理も堪能でき、さらに学びだけではなく、懇親会にも参加す

ちなみに私も耳を動かすことが出来ます(笑)引き続きよろしくお願い致します!

# 《人間学塾·中之島》次月日程



◆ 6 月 時 10 日

大阪市中央公会堂→場所 (土) 13時~

○開催場所にご注意ください! 地下1階大会議室

# **\*講師 原田隆史 先生**

◆テーマ

いただける機会です。◆入塱説明会を開催します!・大谷翔平を育てた曼荼羅ワーク」「大谷翔平を育てた曼荼羅ワーク」

知人など是非お誘いください。

詳細は別紙入塾体験案内を参照ください。

# 新規塾生紹介

思い、入塾を決めました。 大のお役に立てる自分を育 なりたいです。 そして、これからの日本 がりたいです。 おりたいです。

## 【編集後記

心にしみます。を尽くす。面白おかしくお話を頂きました。せること。陰徳を積む。見えないところに誠津曲孝先生のお話。人に好かれる。人を喜ば

改めてお礼申し上げます。 さらに、皆様におみやげまで頂きました。

近藤世話人のコラムでは、こだま通信のご 近藤世話人のコラムでは、こだま通信のご 近藤世話人のコラムでは、こだま通信のご

編集長 西村俊幸

よろしくお願いいたします。

今後とも、原稿の依頼があった場合、

何卒、

### 投稿大募集

メッセージもこちらにお願いします! 人間学塾・中之島

2012nakanoshima@gmail.com

編集部 メールアドレス

TEL 090-6322-2590

〒596−0828

岸和田市門前町2-7-28

編集長 西村俊<del>幸</del>